

トライ! アングル

令和5年3月7日
八千代市立萱田南小学校
校長 越川多佳美
【校長室だよりNo. 35】

学校教育目標: 国際社会にはばたく南の子 - 夢と自信を育む -

「6年生ありがとう会」が行われました!

2月28日(金)に、「6年生ありがとう会」が行われました。昨年度まではコロナ禍の中で、全校で



集まっての開催はできませんでしたので、アリーナで全員が発表し、聴くことができ大変うれしかったです。



1年生から5年生の発表は、6年生への感謝の思いと卒業を祝う気持ちが表れていました。どの学年も、思い出いっぱいの歌や、クイズ、6年生の先生へのインタビュー、呼びかけなど大変心のこもった発表ばかりでした。1年生の時の写真が大きく映し出された時には、6年生からも、「わーっ」と歓声も上がりました。6年生は、これまで6年間のいろいろな思い出を胸に抱きながら心を込めて歌や呼びかけをしていました。その姿には中学生になるという自信がみなぎっているようでした。



今年、その前日に、リ



ハーサルの様子を保護者の方々にもご鑑賞いただきました。お忙しい中、また近くなっただご連絡にもかかわらず、たくさんの方にお越しいただき感謝しております。ありがとうございました。

思い起こせば、今年度の始めには、音楽の時間に歌を歌ったり鍵盤ハーモニカやリコーダーを演奏したりという活動ができませんでした。初めてこれらの楽器を学習する1年生や3年生も早く演奏したくてうずうずしていたでしょう。

6月頃になり制限が緩和されて、授業の中で少しずつ演奏することができるようになりました。6月下旬からは、アリーナにみんなで集まり「うたごえ集会」を開くこともできるようになりました。他の授業においても、声を出しての音読やグループ活動もできるようになりました。その頃から練習が思うようにできなくても、方法を工夫しながら一生懸命行ってきたので、当日はこのように素晴らしい会になったのだと、思いました。

また、5年生の委員会の児童が堂々と司会・進行を行っていました。来年度は、最上級生としてがんばるぞという決意のようなものが感じられました。